

令和4年度



東明小だより

第7号

令和4年9月26日(月)

運動会練習を頑張っています ~グラウンド整備ありがとうございました~

校長 奥村 哲也

台風の影響で天候が不順だったり、新型コロナウイルス感染症の心配が依然として続いている中ですが、子どもたちは、運動会に向けて、一生懸命に練習に励んでいます。高学年の児童は、「気合を入れて頑張ります。」と言いながら、休み時間にソーラン節の自主練習をしていました。中学年の児童は、昼休みに、60メートル走のスタートダッシュの練習を何度も繰り返していました。低学年のある児童は、「お家でね、お母さんに携帯で音楽を鳴らしてもらって、ダンスの練習をしているんだよ。上手に踊れるようになったよ。」と、自信ありげでした。

運動会で使うグラウンドの環境整備に関わって、多くの方にお世話になっております。今年は高温で雨が多かったせいか、例年に増して勢いよくグラウンドの草が生長し、夏休みの終わりには、まるで草原でした。そうした中、8月27日には、自治連合会や地区センターが中心となって呼びかけをしてくださり、40名を超える地域ボランティアの方が草刈り作業をしてくださいました。さらに、9月17日にはPTAを中心に作業をしていただき、とてもすっきりしたグラウンドになりました。また、安全サポーターさんは、暑い中、連日草刈りを続けてくださっています。「運動会に向けて、子どもたちが気持ちよく練習できるように」とご助力いただいた皆様のお気持ちに感謝申し上げます。ありがとうございます。

子どもたちも、9月になってから数回、朝活動の時間を使って運動場の草取りを行いました。「この前より、今日は、草が取りやすいよ。雨が降った後だからかな。」「わたし、算数より草取りの方が好きかも。」「手袋が泥だらけになっちゃった。頑張ったからだよね。」「わーすごい。この辺、すごくきれいになった。」などと会話をしながら一生懸命に草取りをしていました。子どもたちにとって、教室では気付けないことに出会えた貴重な時間になったようです。



2022/09/16 朝の草取り活動の様子

8月の中頃、私は草原となったグラウンドを眺めながら「どうしたものやら。」と、ため息をついていました。しかし、「災い転じて福となす」と申しましょうか、草の生い茂ったグラウンドは、地域や保護者の方々の学校への思いを改めて知ることのできる場となり、子どもたちが多様な気づきを得ることのできる場ともなりました。

いよいよ、10月1日に運動会本番を迎えます。整ったグラウンドで競技や演技ができることを大変ありがたく思います。精一杯やり切る姿こそが、応援してくださっている方々への感謝につながると、子どもたちは一生懸命に取り組みます。子どもたちの頑張る姿に、ご声援をお願いします。